

# 未来を考えるレポート 『地域政策フォーラム』VOL. 1

地域政策フォーラム 代表 **谷 しんいち**

## 地域公共交通の充実を！ — 道路は血管 交通は血液 —

発行：地域政策フォーラム〒356-0030 ふじみ野市新駒林 3-5-15 TEL・FAX 049-203-0605

### 東武バスの路線廃止

今年の3月31日をもって上福岡駅東口とふじみ野駅東口を結ぶ東武バスウエスの「ふじ04 系統ふじみ野駅東口～水天宮～上福岡駅東口線」が廃止されました。この廃止によって今まで利用していた市民の方やいわゆる交通弱者と呼ばれる高齢者の方々からも「移動の制約を受けて日常生活が不便になる」という不安や心配の声が聞かれ、同時に市内循環バスの充実を求める声も上がっています。

かつては通勤通学の足として多くの方に利用されていたバスですが、モータリゼーションの進展によって利用者が減り、公共交通は衰退の一途をたどっています。しかし急速に進む高齢化社会への対応や低炭素社会の実現、さらには地域活性化の視点からも公共交通政策はふじみ野市においても重要な位置づけになっていると言えます。

### 市内循環バスの現状

現在、ふじみ野市では市内循環バスが4系統8コースで運行されていますが、いずれも鉄道駅よりもふじみ野市役所や大井総合支所などの公共施設とのアクセスを重視したコース設定であることがうかがえます。

また、運行本数がほとんどの路線で一日2、3便であることや運行時間も最も早い第1便で7時50分の始発であること、さらに最終バスが18時台で終了することから“使いたいけれど使えない”という声が寄せられています。



▲ふじみ野市内循環バス

### ミスマッチ解消

このようなミスマッチを解消するには、どの時間帯にどのようなニーズがあるのかを検証して、新たな路線を設定すべきです。例えば最も利用者が多いと見込まれるのが駅であれば、上福岡駅やふじみ野駅を起点・終点とするコース設定にシフトしていく方が公共交通への満足度が高まると期待できます。

また朝夕の通勤・通学の時間帯では、時間のかかる循環型ではなく駅への直行型のバスを増発させ、昼間の時間帯では商業施設でのショッピング、行政・金融機関での手続き、医療機関への通院なども考慮して循環型バスなどの対応も考えるべきです。

## 公共交通空白地域

ふじみ野市内では3月末現在、東武東上線の西側地域に上福岡駅西口から鶴ヶ岡循環など平日59本（始発5時59分、最終21時56分）、ふじみ野駅西口から大井循環・イオン循環など平日75本（始発6時8分、最終23時0分）の東武バスが運行されています。また西武バスの37本などその他を含めると通勤・通学に利用できる広い時間帯と本数を確保しているように思えます。

一方、東側地域では西武バスの大宮駅西口から所沢駅東口を結ぶ路線6本、南古谷駅から上赤坂の路線31本の合計37本で、その差は歴然としています。

下記路線図からも公共交通の空白地域は明らかであり、この問題を放置すれば、さらにエリアは拡大し、将来的に買い物難民を生み出す結果になることを危惧しています。

## 道路は血管で、交通は血液

行政は当然に公共交通についての財政面や公平性の見地からのアプローチも重要であり、コンパクトなまちづくりを目指していくことも理解できます。

しかし、現実に住宅地として拡大していった地域の利便性の低下は、生活環境の悪化であり早急な対策が求められます。財政的課題は受益者の一定額負担、路線の見直しはもちろんのこと、バスやバス停、バスターミナルなどを媒体として、あらゆるものを絡めた事業運営の可能性も視野に入れて、収益性の向上も考えていくことが公共政策のあるべき姿だと思います。

人間の身体にたとえれば、「道路は血管で、交通は血液」と言われています。公共交通の充実を図ることは市民生活の向上につながり、ふじみ野市の活性化には不可欠だと考えています。



▲東武バスホームページ「路線図」より



「地域政策フォーラム」へのご意見、ご要望をお聞かせください。

# まちづくり14年 子どもたちの見守り6年 現場の声を待ったなし!!



◎ 谷 しんいち プロフィール

□昭和33年12月19日、ふじみ野市生まれ、54歳。会社役員。

□地元小・中、巣鴨高、法政大学経営学部卒業。明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科修了。

□ふじみ野市都市計画審議会委員、ふじみ野市住居表示整備審議会会長、富士見都市計画土地区画整理組合連合会会長、ふじみ野市立さぎの森小学校PTA会長などを歴任。

□現在、ふじみ野市駒林土地区画整理組合理事長、JAいるま野総代、土地区画整理士、防災士。

□家族は妻と中学生の娘の三人暮らし。

□趣味は、ラグビー観戦、溪流釣り、まちの散策

□座右の銘『一隅を照らす』